

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いるかくらぶ				公表日	令和7年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		遊び方に応じて机や玩具の配置を変更して、良い環境を整えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		バリアフリーにはなっていないが、児童が使いやすい環境になっていると思う。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		利用児の成長に合わせて、環境を変えている。遊び方に応じて机や玩具の配置を変更して、良い環境を整えている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個別対応が必要な場合は、事務室を使用するなどしている。職員室での勉強も認められており、周りの子ども達も理解している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に会議が行われ、それぞれが意見を持って参加しているので、共通認識出来ると共に、とても学びになっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		第三者評価はおこなっていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	プログラムは組まれているが、公表はされていない。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		子どもとの対話を大切に、常に子供のニーズを聞き取れるよう心がけている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		話し合いの場を設けて、職員間で話し合い共有している。定期的に会議が行われ、それぞれが意見を持って参加しているので、共通認識出来ると共に、とても学びになっている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		各利用児の月の目標を決めている。定期的に会議が行われ、それぞれが意見を持って参加しているので、共通認識出来ると共に、とても学びになっている。個別支援会議をおこなうことで、職員が共通理解出来ていると思う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			なるべく職員が揃っているときに行っているが、全員の意見が出なかったり、その後の雑談で個別で意見が出ている。全てが共有できていない。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		曜日で職員が代わる代わる色々な活動を用意している ので、子どもの色々な成長が見られる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行 っているか。	8	1	朝礼、終礼をして毎日の支援につなげている。	気づいた職員、個別でのやりとりになっており、共 有出来ていないと感じる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	終礼で振り返りを行っている。 記録をつけ、それを読むことで共有もできている。	気づいた職員、個別でのやりとりになっており、共 有出来ていないと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	9		記録をつけ、それを読むことで共有もできている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直 しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数 組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己 決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	8	1		教育機関（学校）とは連携がとれているが、その他 の所とは、ほとんどない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	9		学校へのお迎えに行った際、学校の先生と情報共有 している。できない場合は保護者を通しておこなっ ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童 発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている か。	7	2		こども園等に足を運ぶ機会があればその時に話す事 もあるが、ほとんどない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス 事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか。	5	3	これまでその年齢に該当する利用者がいない。	未記入1
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		未記入1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	6	3		サービス提供時間や各利用児の利用時間の関係上、 交流の場を設けるのが難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	9				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参 加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか。	9				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護 者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏 まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている か。	9				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8			仕事をしている保護者が多いため、保護者の交流の機会をつくるのが難しい。 未記入1
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		Instagramや公式LINEを利用して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		研修を通して学びになる事、また見直しが必要な事まで話し合い、準備しているのが良かった。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		手紙を出したり、171の訓練を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			未記入1
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		研修を行い、意見を出し合っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				